

第七十九回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

付託議案

退役將校ノ豫備役復歸ニ關スル法律案(政)
兵役法及共通法中改正法律案(政)

昭和十七年一月二十三日(金曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(侯爵前田利爲君) ソレデハ只今カラ本特別委員會ヲ開催ヲ致シマス、先ヅ第一ニ退役將校ノ豫備役復歸ニ關スル法律案竝ニ兵役法及共通法中改正法律案ニ關シマスル政府委員ノ方ノ御説明ヲ承リ、然ル後昨日ニ引續キマシテ此ノ三法律案ノ質疑ヲ致サウト存ジマス

○政府委員(木村兵太郎君) 退役將校ノ豫備役復歸ニ關スル法律案ノ提出理由ニ付申述ベタイト存ジマス、支那事變勃發以來、陸軍ノ出戰兵力ハ逐次増大シ、之ニ伴ヒ軍隊幹部ノ所要數ハ著シク増加シ、其ノ在郷資源モ亦漸次減少シツ、アル狀態デアリマス、之ガ爲軍隊幹部ノ増加養成等ニ關シマシテハ、有ラユル手段方法ヲ講ジテ居ル次第デアリマシテ、曩ニ大學學部、專門學校等ノ在學年限又ハ修業年限ヲ短縮スルト共ニ、臨時徵兵検査ヲ行フテ、速カニ入營セシムルノ措置ヲ執リマシタノモ、全ク此ノ幹部急速補充ノ必要ニ基イタノデアリマス、而シテ現在幹部候補生出身將校ノ服役ハ、年齡五十年ニ滿ツル年ノ三月三十一日迄ト定メラレテ居リマスガ、之ト本質全ク同一ナル從前ノ一年志願兵、又ハ一年現役兵出身將校ノ服役期間ハ十七年四月デアリマシテ、幹部候補生出身將校ノ服役ニ比シ、可ナリ

短カカッタノデアリマス、然ルニ以上申述ベマシタヤウニ、國軍ノ現況ハ、幹部ノ補充ニ特別ノ手段ヲ要スル狀態デアリマスノデ、昨秋陸軍武官服役令ヲ改正シテ、一年志願兵又ハ一年現役兵出身將校ノ服役ヲ、幹部候補生出身將校ノ服役ト同程度ニ改メラレ、從テ當時尙豫備役ニ在ッタ者ハ、之ニ依リ其ノ服役期間ヲ延長セラレタノデアリマスルガ、更ニ退役トナツテ居ル者ヲモ豫備役ニ復歸セシメ、幹部候補生出身將校ト同程度ノ服役ニ服セシメムトスルノデアリマス、本法律案提出ノ理由ハ以上ノ通りデアリマス、何卒御審議ノ上、速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス、次ニ兵役法及共通法中改正法律案提出ノ理由ニ付申述ベタイト存ジマス、海軍關係ノ事項モアリマスルガ、併セテ申述ベマス、改正ノ事項ハ大別シテ四點アリマシテ、其ノ第一ハ、海軍ノ第一補充兵役期間ノ延長デアリマス、現在海軍ノ第一補充兵役ハ僅ニ一年デアリマスガ、是ハ單ニ一年間ニ於ケル現役兵ノ減耗ニ對スル補缺ヲ目的トシタモノデアリマス、然ルニ海軍ニ於テモ、戰時要員補充上、陸軍同様長期服役ノ補充兵ヲ必要トスルニ至リマシタノデ、之ヲ十七年四月ニ延長致サウトスルノデアリマス、第二ハ、徵兵適齡又ハ徵兵適齡屆差出期日ノ臨時變更ニ關スルモノデアリマス、支那事變勃發以來出戰兵力ハ逐次増加致シテ居リマス、幸ニシテ戰局ハ極メテ有利ニ進展シ、兵員ノ損耗モ亦豫想以上ニ僅少デアリマスガ、最惡ノ

事態ニ對處シ得ベキ萬全ノ方策ヲ常ニ考究シテ置カネバナラヌコトハ申ス迄モナイコトデアリマシテ、豫想セラルル最惡ノ事態ヲ設想シマスルニ、兵員資源ノ現況ハ必ズシモ樂觀ヲ許サナイノデアリマス、從テ兵員補充上ノ必要ニ依リ徵兵検査ノ實施ヲ早メ、尙更ニ進ンデハ徵兵適齡ヲ低下セネバナラス事態モ起ルコトト豫想セラレマスノデ、其ノ必要ノ起ツタ場合ハ勅令ヲ以テ隨時敏速ニ徵兵適齡又ハ徵兵適齡屆ノ差出期日ヲ變更シ得ルノ途ヲ開キ置カウトスルモノデアリマス、第三ハ國民兵ノ取扱ニ關スルモノデアリマス、國民兵ノ戰時ニ於ケル必要性ハ從來ニ比シ頗ル増大シテ參ツタノデアリマシテ、之ガ爲昨秋兵役法施行令ヲ改正セラレ、國民兵モ豫備兵、補充兵等ト同様ニ隨時之ヲ召集シ得ルコトト相成ツタ次第デアリマスガ、其ノ召集準備等ニ遺憾ナカラシムル爲、國民兵ニ對シテモ平時簡便點呼ヲ行ヒ得ル如ク致スト共ニ、第二國民兵役ニ在ル者ニ付テモ、戶籍ニ兵役ノ略符號ヲ附スルヤウニ致サウトスルノデアリマス、尙戶籍法ノ適用ヲ受ケテ居ル者ハ、兵役ニ服スルノ義務ノナクナツタ後デナケレバ他ノ地域ノ家ニ入ルコトハ出來ナイコトニ相成ツテ居リマスガ、徵兵終決處分ヲ經テ第二國民兵役ニ在ル者ハ齊シク兵役義務者デアリニ拘ラズ、特ニ此ノ制限カラ除外セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ第二國民兵ト雖モ戰時其ノ必要性ハ著シク増加シ、之ガ爲曩ニ國民兵ノ召集法

ニ關シ改正セラレ、國民兵モ豫備兵等ト同様隨時之ヲ召集シ得ル如クセラレ、今回又國民兵ニ對シ簡便點呼ヲ行ヒ得ル如ク改正方御協賛ヲ願フデ居ル次第デアリマスノデ、今後ハ假令第二國民兵ト雖モ他ノ兵役義務者ト同様兵役ニ服スルノ義務ナキニ至ツタ後デナケレバ他ノ地域ノ家ニ入ルコトハ出來ナイヤウニ致ス必要ガアルノデアリマス、第四ハ治安維持法ノ改正ニ伴フ改正デアリマシテ、昨春治安維持法ヲ改正セラレ、新ニ豫防拘禁ニ關スル規定ガ加ヘラレタノデアリマスガ、此ノ治安維持法ニ依ル豫防拘禁中ハ徵集延期ヲ爲シ得ルコトト致サムトスルノデアリマス、本法律案提出ノ理由ハ概要以上ノ通りデアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○委員長(侯爵前田利爲君) ソレデハ先ヅ昨日ニ續キマシテ、恩給法中改正法律案ニ關シマシテ、更ニ御質疑ガゴザイマシタラバ、ソレカラ始メルコトニ致シマス

○入江貫一君 昨日ニ引續キマシテ二、三伺ヒタイト思ヒマス、其ノ第一點ハ三十二條ノ改正ノ條項デアリマス、ソレニ「公務員其ノ職務ヲ以テ戰務ニ服シタルトキハ」云々トゴザイマスガ、此ノ戰務ト云フモノノ範圍ハ確カ別ニ詳細ニ御定メニナルコトト存ジマスガ、今回ノ改正ハ敵ノ飛行機ノ襲撃、潜水艦ノ襲撃等ガ戰務デアルト思ハレルノデ、ソレニ對シテ警備其ノ他ノ任ニ當ル公務員ノ恩給年限加算ノ方法ヲ考慮シ

テ、此ノ改正ヲ企テラレタコト云フコトヲ伺ッ
タノデアリマスガ、此ノ公務員トアリマス
ノハ、勿論軍人ニ限ラナイノデ、從テ敵飛
行機ノ襲撃ガアリ、爆彈、燒夷彈等ヲ投下
サレタ時ニ、之ニ對シテ防備ナク、其ノ爆
彈、燒夷彈ヲ防グ、燒夷彈ノ害毒ヲ防グコ
トニ從事シタ警察官等ハ戰務ニ服シタルモ
ノトシテ御取扱ニナルノカドウカト云フコ
トヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(平木弘君) 三十二條ヲ今度改
正ヲセムトスルノデアリマスガ、戰務ノ内
容及ビ其ノ範圍ニ付キマシテハ從來ノ取扱
ト同一デアリマス、唯變リマスルノハ何ケ
月付ケルカト云フ、加算年限ガ從來ト多少
變ッテ居ルト云フコトニナッテ居ルデケデ
アリマス、ソレカラ只今御述べニナリマシタ
警察官等ガ爆彈ヲ投下デモサレタ場合ニ、
色々此ノ始末ヲスルト云フ者ニ對シテハ、
加算年ヲ付ケルカト云フ御質問デゴザイマ
シタガ、是ハ空襲其ノ他ノ場合ニ於キマス
ル防衛ハ、是ハ防衛部隊ノ任務デゴザイマ
ス、從ヒマシテサウ云フ方面ニハ勿論付ケ
マスルガ、警察官ニ迄付ケルト云フコトハ
只今ノ所豫想致シテ居リマセヌ、或ハサウ
云フ問題ガ絶無デアルト云フコトモチヨッ
ト言ヘナイト思ヒマスルガ、只今ノ所デハ
サウ云フ事態ガ起ルト云フコトハ豫想致シ
テ居リマセヌ、唯併シサウ云フ任務ニ從事
シテ居リマスル爲ニ死シタト云フ風ナ場
合ニ於キマシテハ、是ハ或ハ戰等ニ準ズル
公務トシテ取扱フカ、或ハ公務トシテ取扱
フカ、特別ナサウ云フ取扱ニナルノデアリ
マスガ、戰務加算ノ問題ハ今ノ所豫想致シ
テ居リマセヌ

○入江貫一君 何ガ戰務デアルカト云フコ
トハ餘程ムヅカシイ問題デアラウト考ヘル
ノデアリマス、之ヲ一々御決メニナルコト
ハ非常ニ困難ナ場合ガアルノデハナイカト
存ジマスガ、念ノ爲ニ伺ヒマスガ、大本營
トカ、參謀本部、軍令部ニ從事シテ居ラレ
ル人ハ、矢張り戰務ニ從事シテ居ル者ト私
ハ想像スルノデアリマスガ、其ノ他ノ軍ノ
官衛學校及ビ府縣ノ兵事課ノ任務ト云フモ
ノハ矢張り戰務ト御覽ニナッテ居ルノデア
リマセウカ、如何デアリマセウカ

○政府委員(平木弘君) 戰務ニ從事スルト
云フ範圍ハ是非ムヅカシイ問題デゴ
ザイマスルガ、是モマア簡單ニ申シマスレ
バ戰等ノ遂行ト一體不可分ノ關係ニアリ、
直接非常ニ密接ナ關係ガアルト云フ風ナモ
ノト云フコトニデモ、簡單ニ申シマスレバ
言ヘル譯デゴザイマス、從ヒマシテ理論上
カラ申シマスレバ、參謀本部、軍令部、或
ハ陸海軍省ノ、特ニ其ノ方面ニ關係ノ深イ
人、或ハ學校等ニ於キマシテモ、此ノ戰時
特ニ其ノ戰團員ノ養成ニ當ッテ居ルト云フ
者ハ勿論是ハ理論上ハ入ル譯デアリマス、
又從來ノ戰等又ハ事變ニ際シマシテハ、戰
争ガ始マリマシテ或期間斯ウ云フ人ノ戰地
外戰務加算ヲ付ケテ居ッタノデアリマス、
處ガ今回ノ戰等ニ付キマシテハ、陸海軍カ
ラノ申出モアリマシタシ、今申上ゲマシタ
ヤウナ方面ニハ付ケナイト云フコトノ申出
ガアリマシテ、特ニ昨日御話申上ゲマシ
タヤウナ、潜水艦ノ掃蕩ニ從事シテ居ルト
カ、或ハ帝都ノ上空、或ハ國土防衛ヲスル
トカ云フ、サウ云フ方面ニハ或程度付ケナ
ケレバナラヌト思ヒマスガ、今申シマシタ
ヤウナモノニ付テハ付ケナイト、斯ウ云フ
陸海軍カラ申出ガアリマシテ、サウ云フコ

トニ取計ヒタイト思ヒマス
○入江貫一君 尙細カイ點デアリマスガ、
七十二條ノ改正ノ要綱デアリマスガ、七十
二條、七十四條ニモ關係スルカモ知レマセ
ヌガ、私生子ヲ公務員ガ認知シテ、然ル後
ニ認知ノ届出ヲ發送シテ死シタト云フ場合
ニ、是ハ遺族扶助料ヲ貰フコトニナルト存
ズルノデアリマスガ、其ノ場合ニ先順位者
ト申シマスカ、前ニ同ジ戸籍内ニ遺族扶助
料ヲ受ケルベキ者ガアツテ、其ノ順位カラ言
フト、初カラ同一戸籍内ニ其ノ子ガアツタ
ラバ、一體ナラバ其ノ者ハ後ニナルガ、併
シナガラ死亡ノ時ハ今ノ私生子ガ同一戸籍
内ニナカッタノデアリマスカラ、權利ハ其ノ
者ニアルカト思ハレルノデアリマスガ、其
ノ順位ハドウナリマスカ

○政府委員(平木弘君) 其ノ順位ハ結論ヲ
申シマス、現在扶助料ヲ受ケテ居ル者ガ
アリマスレバ、其ノ人ガ失權シタ後ニ認知
サレタ私生子ガ扶助料ヲ受ケル、斯ウ云フ
風ナ順序ニ今度ノ規定ハ致シテ居ルノデア
リマス、其ノ定メ方ハ實ハ恩給法ハ二ツノヤリ
方ヲ現在執ッテ居リマシテ、一昨年デゴザイマ
スルカ、アノ内縁ノ妻ヲ認メマシタ場合ニ
ハ、内縁ノ妻ガ委託又ハ郵便ニ依ッテ戸籍ガ受
理サレテ、妻ト認メラレタ場合ニ於キマシテハ、
其ノ場合ニ假リニ内縁ノ妻ガナイ場合ハ、父ガ
扶助料ヲ受取りマスガ、妻ガ戸籍ニ受理ヲサ
レマシタ場合ニハ、直グニ妻ノ方ニ扶助料ヲ
受ケル順位ヲ廻ス、ソレ迄ノ遺族扶助料ヲ
返サセハシマセヌガ、其ノ時ニ妻ノ方ヲ第
一順位ニスル、斯ウ云フ風ナ建前ニナッテ居
リマス、ソレカラ胎兒ノ場合ニ於キマシテ
ハソレト一寸趣ガ異リマシテ、胎兒ガ出生
致シマシテソレガ第一順位ニナリマシテモ、

親ノ方ガ假ニ扶助料ヲ貰ッテ居リマスレバ
親ノ方ニ引續イテ扶助料ヲ出ス、ソレガ失
權致シマシテ胎兒ノ方ニ順位ヲ廻ス、斯ウ
云フ風ナ現在ニツノ建前ヲ採ッテ居ルノデ
アリマス、之ヲ實質上カラ申シマスルト、
私ノ方デハ扶助料ト云フモノハ親ガ貰フト
カ、妻ガ貰フトカ、其ノ個人々々ノ所謂個
人主義的ニヤル譯デハアリマセヌノデ、其
ノ一家ノ者全部ノ生活ヲ支ヘル爲ニ、唯其
ノ色々ナ書類ヲ出シタリ、整理上ノ問題ト
シテ代表者トシテ或者ヲ決メテ居ルノデア
リマスルカラ、實質上ノ問題トシテハサウ
アリマセヌガ、唯建前トシテハ誰カラ請求
者ニシテ置キマセヌト整理ガ出來マセヌカ
ラ、其ノ場合ニ其ノ二ツノ立場ヲ採ッテ居
ルノデアリマス、今度ノ場合ヲ考ヘマスル
ト、是ハ胎兒ノ場合ト同様ニ、殊ニ多クノ
場合子供ガ多イノデゴザイマセウカラ、親
ガ貰ッテ居ルトスレバ親ノ方ノ順位ヲ其ノ
儘ニシテ置イテ、其ノ後デソレガ失權シタ
後ニソチラニ廻スト云フコトガ適當デナイ
カ、斯ウ云フ風ナ考デソチラノ方ノ建前ヲ
採ッテ居ルノデアリマス

○入江貫一君 御説明デ分リマシタガ、其
ノ二ツノ建前ニシテ居ルト云フ御話デアリ
マシタガ、ソレハ何カサウ云フ規定ヲ御持
ヘニナッテ居ルノデアリマスガ、ソレトモウ
一ツ伺ヒタイノハ、親ト子ト云フ場合デハ
今ノ御話ノヤウナコトハ御尤ト存ジマスガ、
例ヘバサウ云フ場合ハ極メテ稀カモ知レマ
セヌガ、子供ガ先ニ戸籍内ニアツテ、ソレハ
嫡出デモ庶子デモ宜シウゴザイマスガ、子
供ガ先ニアツテ後カラ外ノ私生子ヲ認知シ
タ、而モ其ノ私生子ハ前ニアル子供ヨリハ
年長者デアルト云フヤウナ場合ハドウナリ

マスカ、一體ナラバ子供ハ年齢ノ順ニ從ッテ扶助料ヲ受ケルノデアリマセウガ、此ノ場合若シ前ニアル年少ノ子供ガ扶助料ヲ受ケテ、而モソレガ成年ニ達スル迄ハ今ノ私生子ニバ廻ラナイトナレバ、私生子ハ一生涯扶助料ヲ受ケルコトガ出来ナイ立場ニアリノデアリマスガ、サウ云フ時ニハドウナリマスカ、何カ決マリガ、規則カ何カニ御決メガアリマスカ、ドウデスカ

○政府委員(平木弘君) 是ハ法律ヲ以テ其ノ順位ノコトハ全部規定シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ只今御述べニナリマシタヤウナ事例ガアリマスルト、ソレハ成ル程御説ノヤウニ面白クナイヤウナコトモアルノデゴザイマスルガ、色々ナ場合ガアリマシテ、ドチラニ致シマシテモオカシイ問題モ一寸起ルノデアリマスカラ、ドチラガマア比較的宜イカト云フ問題デ解決スルヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フ風ナ積リデサウ云フ風ニシタノデアリマス

○入江貫一君 ドウモ私ニハ能ク細カイトガ分リマセヌカラ利害得失ハ分リマセヌガ、マア此ノ點ノ質問ハソレダケニ致シマシテ、モウ一ツハ一番終ヒノ九十一條デアリマスガ、此ノ御説明ニ依リマスト師範學校ヲ設ケタカラ關東局職員ト云フノ關東局部内ノ職員ニ改メルト云フ御話デアリマシタガ、師範學校ハ何處ニ御設ケニナッデ居ルノデアリマスガ、ソレカラ現行ノ九十一條第二項ニハ斯ウ云フ職員デ新京ニアル者ハ關東州ニアル者ト看做スト云フヤウナ意味デアッタカト思ヒマスガ、何故新京ニ限ッテ居ラレマスガ、例ヘバ奉天ナリ、吉林ナリニアル者、今ナイカモ知レマセヌガ、師範學校ナドヲ御造リニナル時ハ、又改正

ニナル御積リデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイモノデアリマス

○政府委員(平木弘君) 新京ノ問題ハ、實ハ是ハ主トシテ沿革ダケノ問題ダト思ヒマス、元關東州ニアリマシタノガ新京ニ移轉致シマシタ爲ニ、關東州ニアッタ時ヨリモ待遇ヲ惡クシテハ困ルト云フ風ナ沿革のダケノ意味カラ、此ノ新京ニアリマスル關東局ヲ加算ヲ認メテ居ル、斯ウ云フ風ナ問題デアラウト考ヘマス、從ヒマシテ全般的ニ滿洲國ノ方ヲ、恩給法ノ立場トシテ認メテ居ナイノデゴザイマスルカラ、現在ト致シマスレバ斯ウ云フモノハ成ルベク餘リ廣ク認メタクナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ將來奉天其ノ他ニ出來タ場合ニドウスルカト云フ問題ニナリマスレバ、大體マア餘リ廣ク認メタクナイ、斯ウ云フ考デ居ルト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○入江貫一君 其ノ點モドウモシカリ分リマセヌガ、併シ細カイトデアリマシテ、當局ガソレガ宜イト云フコトデアリマスレバ、私ノ質問ハ是デ終ルコトニ致シマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 其ノ外ゴザイマセヌカ

○男爵井田馨楠君 私ハ昨日缺席ヲ致シマシタカラ、或ハ是カラ御尋ネスルコトハ重複シテ居リマスルカモ知レマセヌ、サウシマシタナラバ、時間省略上御返事ニ及ビマセヌノデ、其ノ積リデ……事變以來此ノ恩給年金扶助料ト云ッタヤウナモノガ、益増額ノ一途ヲ辿ルノミダト考ヘテ居ルデアリマス、嘗テ此ノ恩給廢止論ト云ッタヤウナモノガ相當有力ナ意見トシテ行ハレテ居ッタノデスカ、今日色々ナ國策ガ變更サレル此ノ時代ニ於キマシテ將來此ノ恩給ヲ廢止スルト云フヤウナ

問題ガ考ヘラレテ居ルノデアリマスカドウデスカ、今日此ノ恩給法中改正法律案ハ、色々ナ點ニ於テ段々御手厚イ點ガ出テ居ルノデアリマスガ、根本ト致シマシテ、政府トシテハ將來ドウ云フ考ヲ持ッテオイデニナルカト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(森山銳一君) 恩給廢止ノ問題ニ付テ政府ノ所見如何デアルカト云フ御尋デアリマスガ、現在政府ニ於テハ恩給廢止ト云フヤウナ問題ニ付テハ、何等考慮シテ居リマセヌ、唯恩給ノ制度ヲ其ノ時々ノ要請ニ應ジテ、合理的ナ制度ニスルト云フコトニ付テハ、常ニ十分ノ研究ヲ遂ゲテ、必要ナル改正ハ隨時之ヲ致サウト云フ考デ居ルノデアリマス、今回恩給法改正ノ提案ヲ致シマシタノモ、全ク其ノ趣旨ニ依ッテ致シタノデアリマシテ、恩給制度其ノモノヲ廢シテシマフト云フヤウナコトニ付テハ、全ク今サウ云フ考ヲ持ッテ居リマセヌ、又サウ云フ方面ノ研究モシテ居リマセヌ、從前恩給紀念國論トカ、誠ニ適當デナイヤウナ言葉ヲ以テ恩給制度ノ廢止等ヲ論議シタ向モアルヤウデアリマスガ、サウ云フコトハ現在ニ於テハ政府ハ全クサウ云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、恩給制度ノ改正ニ付テ根本的ナ意見トシテ年金ノ恩給ヲ一時金ニ換算シテ見タラドウカ、サウ云フコトニ付テ會ッテ政府部内デモ研究シタコトモアッタノデアリマスガ、色々研究シタ末矢張り年金タル恩給ハ存置シナケレバナラスト云フヤウナコトデ、サウ云フ方面ニ付テモ今政府ハ年金ヲ一時金ニ換算シテ恩給ノ根本ノ建直シヤルト云フヤウナコトニ付テモ研究ハシテ居リマセヌ

○男爵井田馨楠君 誠ニハッキリシタ御答

辯ヲ感謝ヲ致シマス、是ハ私ハッキリシタ記憶デハゴザイマセヌガ、軍人ノ金鵄勳章ガ、年金ガ一時金ニナッタヤウナ風ニ聞イテ居ルト云フ風ニ申シタ方ガ宜イカモ知レマセヌ、サウ云フ風ニ思ッテ居ル、是ハハチヨット前ノ御説明ト違フヤウニ思フノデアリマスガ、年金ガ一時ニナッタヤウニ思フ、是ハ何カ私ノ考違ヒカモ知レマセヌ、ソレヲチヨット御伺ヒ致シタイ

○政府委員(森山銳一君) 金鵄勳章年金ハ昨年廢止サレマシタ、金鵄勳章ハ其ノ本質ニ於テ榮譽ノ表象タルベキモノデアッテ、之ガ常ニ物質ト絡ンデ論ゼラレルト云フコトハ誠ニ面白クナイ、金鵄勳章ニ年金ガ附加サレテ居ルガ爲ニ、或ハ年金ノ多イトカ少イトカト云フコトヲ論議シテ年金ノ増額運動等モアッテ、殊ニ議會等ニハサウ云フ増額ノ運動等モ現レテ居ッタノデアリマス、斯ウ云フコトハ誠ニ面白クナイコトデアリマスカラ、金鵄勳章ト云フモノト年金ト云フモノハ全ク分離シテ考ヘル、金鵄勳章ハ何處マデモ榮譽ノ表象デアッテ、物質的ナ年金トカト云フモノトハ全然離レテ、眞ニ榮譽ノ表象タル有難サヲ益々發揮スルト云フ風ニシナケレバナラスト云フノデ、昨年金鵄勳章年金ヲ廢止サレマシタ、年金ヲ廢止サレタノデアリマスガ、其ノ年金ヲソレデヤ廢止シ放シデ宜イカト云フト、ソレデハ適當デナイ點モアリマスノデ、戰爭事變ノ際ニハ常ニ陛下ヨリ厚イ賜金ヲ頂戴スルノガ例デアリマスガ、其ノ賜金ニ或對酌ヲ加ヘマシテ、從前ヨリモ特別ナ一時賜金ヲ戴クト云フヤウナコトデ、金鵄勳章其ノモノト相表裏スルモノデアナイノデアリマスカレドモ、特別ノ有難イ恩召デ、一時金ヲ所謂殊勳ヲ奏

○男爵井田馨楠君 私ニドウモサウ云ツタ
コトガ極メテ知識ガ乏シイモノデスカラ、
御尋ガ漠トシテ誠ニ御返事ヲ頂戴スルノニ
御迷惑ダラウト思ヒマスガ、恩給ナリ或ハ
サウ云ツタ方々ノ遺族ノ扶助料トカ、尙物質

ヲ離レテサウ云フ方々ニ對スル精神上ノ表
彰ト云ツヤウナコトニ付テハ、是ハ軍當局
ノ方トシテハ色々實際サウ云フ點ニ觸レ
テ具體的ノ案モ御考モアラウト思ヒマスル
ガ、國民トシテモサウ云フ點ニ付テノ聲ガ
昨今ナカ／＼高イ、是ハ能クサウ云フモノ
ヲ吟味シテ拜見シテ行キマス時ニ、是ハ現
在相當デアルト云フ風ニ國民ガ或ハ考ヘル
カモ知レマセヌケレドモ、ナカ／＼サウ云
フモノヲ國民ハ細カニ研究シテ居リマセヌ、
ソコデ私見タイノ質問モ出ル譯デアリマス
ケレドモ、ドウカ此ノ點ハ一ツ十分、銃後ト
戰地トノ區別ガナイ如クニ、平戰ノ區別ガ
段々取レテ來ルヤウナ今日ニ於キマシテハ、
尙一入之ニ付キマシテ、只今御話ノヤウニ
御研究アラムコトヲ希望致シテ置キマス、
續キマシテ私モウ一ツ御尋ヲ申上ゲタイノ
ハ、此ノ四十八條ノ「勅令ヲ以テ指定スル地
域ニ於テニ云々ト云フ比」件デス、是ハ大體

ドシナヤウナコトヲ御定メニナルヤウナ譯
ナノデアリマセウカ、私ハ之ノ極ク概念ダ
ケヲ得サシテ戴キタイ

○政府委員(平本弘君) 是ハ全ク戰地ト云
フ觀念ガナクナリマシタノデ、從來ノヤウ
ニ戰地ニ於テト云フ規定ガ出來マセヌノデ、
其ノ地域ハ「勅令ヲ以テ指定スル」トシテア
リマシテ、内容ト致シマシテハ從來ト取扱
ハ別ニ致ス考ハアリマセヌ

○政府委員(森山銳一君) 先程井田男爵ハ
別ニ御質疑ト云フ譯デハナカッタノデアリ

マスガ、政府ニ對シテ誠ニ御親切ナル御注意ヲ戴キマシタノデ、丁度好イ機會ト思ヒマスカラ、今回ノ改正ニ付テ政府ノ方カラマダハッキリ申上ゲテナイ、詰リ政府ノ心持ヲ申上ゲテ居ナカッタモノモ少シクアリマスカラ、其ノ點ヲ一言申上ゲテ、此ノ案ニ御賛成下サル何等カノ資料ニモト思ッテ、チヨット一言述べサシテ戴キタイト思ヒマス、今戰地ト云フ觀念ガナクナッタカラ「勅令ヲ以テ指定スル地域ヲ」ト直スノダト恩給局長ハ説明致シマシタガ、實ハ今度ノ三十二條ノ改正ハ戰地トカ戰地外トカ云フ觀念ヲ捨テタイト云フコトガ重要ナ點ナノデアリマス、同ジヤウニ帝國ノ軍艦ニ乗ッテ軍務ニ服シテ居ル人ガ、偶、内地ノ近クニ於テ假リニ敵ノ潜水艦ト一戰ヲ交ヘルト云フ場合ガアルト云フト、ソレハ戰地外ダ、其ノ時ノ軍事行動ト云フモノハ是ハ戰地外ノ公務ナシタ、サウ云フ風ニ考ヘルコトガ果シテ軍人ノ士氣ヲ昂揚スル上ニ宜シイカドウカ、尙支那ニ於テハ從前ハ戰地ト云フ考デ居ッタノデアリマスガ、戰地デスト三箇月ノ加算ガ附クノデアリマスガ、ソレヲ色々ナ考慮カラ現在ハ此ノ戰地ニ關スル加算ノ規定ヲ適用シナイデ、擾亂地ノ加算ノ規定ヲ適用シテ居ルノデアリマス、同ジヤウニ重要ナル軍務ニ服シテ居ルノニ拘ラズ、擾亂地ニ於テ軍務ニ服シタト云フ風ナ感ジラ起サスト云フコトガ果シテ宜イカドウカ、是ハ私ハ極メテ士氣ニ影響スルコトデアラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、戰地トカ戰地外トカ云フ觀念ヲスッカリ去ッテシマッテ、サウシテ宜シク其ノ勤務ノ内容ニ應ジテ適當ナル加算ヲ附ケルコトニスルノガ一番宜イノデハナイカ、今度改

正シマスノハ既ニ本會議及ビ此ノ委員會ニ於テモ政府ノ趣旨ヲ述ベタノデアリマスガ、サウ云フ風ナ特別ノ考慮ヲセナケレバナラヌノデ、規定ノ書キ方ト致シマシテハ、若シモ戰地外デ今一月ト云フノガ惡ケレバ、戰地外デモ二月モ加算ノ附ク規定ヲ設ケテモ宜イデヤナイカ、或ハ三月モ加算ノ附ク規定ヲ設ケテモ宜イデヤナイカト云フ風ナ、其ノ立法技術ノ上ニ於テハ色々ナコトモ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、要スルニ戰地トカ戰地外トカ云フ觀念ヲ捨テテ、一様ニ軍務ニ服スルノダ、其ノ軍務ノ内容如何ニ依ッテハ加算ガ違フノダト云フヤウニ法制ヲ立テルコトガ一番宜イコトダト云フヤウナ意味ヲ以チマシテ、今度ノヤウナ規定ノ體裁ニナッテ居ルノデアリマス、特ニ御質疑ガナイノニコチカラサウ云フコトヲ申上ゲテ恐縮デハアリマスガ、好イ機會デアリマシタカラ、特ニ之ヲ申述ベマシテ、何等カノ御參考ニ供シタイト思フ次第デアリマス

○男爵井田磐楠君 有難ウゴザイマシタ

○委員長(侯爵前田利爲君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ

○子爵松平保男君 先程井田男爵ノ御質問ニ關聯シマシテハ或ハ此ノ恩給法ノ何ト少シ離レルカモ知レマセヌガ、金鵒勳章ノコトニ付テ御尋モアッタヤウデシタガ、先般金鵒勳章ノ年金ヲ廢止サレテ、ソレニ附イテ居ルト云フ意味デハナク、別ニ一時賜金トシテ特別ノ恩賞ヲ賜ルト云フヤウナ御説明デアッタ、其ノコトハ私ハ能ク存ジナカッタノデアリマスガ、サウ致シマスト、是ハ是カラ先ノ何ガサウナルンデアリマスカ、或ハ前ニモ週ッデヤルノデアリマスカ、若

シ之ヲ前ノ方ニモ適用シテ、即チ前ニ金鵒勳章ノ年金ヲ戴イテ居ッタモノヲ、ソレヲ廢止スルト云フコトニナルト、之ニ代ル所ノ何モ、色々換算ト云ヒマスカ、ナカノ面倒ナコトニモナリハセヌカト思フノデアリマス、長イ間年金ヲ戴イテ居ッタ者ト、サウデナイ者トノ關係モ違フト云フヤウナコトモアラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニナリマスカ

○政府委員(森山銳一君) 金鵒勳章年金ノ廢止ハ今度ノ支那事變ニ關スル分カラ廢止サレタデアリマシテ、從前ノ金鵒勳章年金ヲ戴イテ居ル人々ノ年金ニハ、何等影響ヲ及ボサヌヤウニナッテ居リマス

○子爵松平保男君 更ニモウ一ツ此ノ金鵒勳章ノコトニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ金鵒勳章ト云フモノハ即チ殊勳ト云フ意味ニ於テ、軍人トシテ最モ名譽ヲ表彰サレルノデアリマスガ、之ニハ矢張り色々階級ガアリマシテ、功何級ト云フヤウニ階級ガアルノデアリマスガ、同ジ戰爭ナリ或ハ事變ノ中ニ於テ其ノ殊勳ニ値スルヤウナ行爲ヲ數回重ネル人ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ、其ノ戰爭ヲ通ジテ一ツ回ダケノ勳章ヲ與ヘラレル規定ニ現在ハナッテ居ルノデアリマスガ、此ノ戰爭ノ場合ニ、更ニ又金鵒勳章ヲ、一ツノ表彰ヲ、二回モ三回モ續ケテ戴ク、或ハ前ノ戰役ニ於テ金鵒勳章ヲ戴イテ居ッタ者ガ又其ノ次ノ戰役ニ於テ亦殊勳ヲ現ハスト云フヤウナ場合ニハ、階級ガ現在ノ規定デハ上ルノデアリマスガ、更ニ其ノ外ニ何カノ特別ナ表彰ヲ加ヘルト云フヤウナ表彰ノ仕方ニ付テハ、現在御考慮ニナッテ居ラナイノデアリマセウカ

○政府委員(森山銳一君) 只今ノ御質疑ニ御答ヘシマスガ、私御質疑ノ趣旨ヲ或ハ取違ヘテ御答ヘスルカモ知レマセヌガ、若シサウデアリマシタラ又改メテ御注意ニ依ッテ御答ヘ申シマスガ、金鵒勳章其ノモノノ併佩問題ト云フコトニ觸レテノ御尋ガ一ツアッタヤウニ思ヒマスガ、從前ハ金鵒勳章併佩ト云フコトハ全然ナカッタノデアリマシテ、功級ガ一級上レバ前ノハ御返シ、テ、サウシテ詰リ金鵒勳章ヲ二個以上併佩スルト云フ制度ハ認メラレナカッタノデアリマス、併シ先般ノ金鵒勳章年金ノ廢止ニ伴ヒマシテ、殊勳者ノ優遇ト云フ趣旨ニ於キマシテ、併佩ノ制度ヲ認メタラ宜シカラウト云フコトデ、併佩ノ制度ヲ認メルコトニナリマシタ、從ッテ前ノ戰爭デ手柄ヲ立テ、又今度ノ戰爭デ手柄ヲ立テルト、金鵒勳章ヲ二ツ併佩スルコトガ出來ルト云フ風ナコトニ制度ガナッタノデアリマス、ソレカラ一時金ヲ戴キマスノハ是ハ無論各戰爭毎ニ各其ノ階級、手柄ニ應ジマシテ、一時金ヲ戴クノデアリマスカラ、是ハ重ナッテ戴クト云フコトニナリマス、年金制度デアリマス、ソコノ所ガ少シ違フノデアリマス、一時金ニナリマス、其ノ都度ニソレ相應ノ一時金ヲ戴クコトニナリマシテ、重ナッテ戴クコトニナリマス、ソレデ大體御答ハ宜シイノデセウカ、若シ尙足りナイ所ガアレバ又申上ゲマス

○子爵松平保男君 ハッキリ分リマシタ、私ハ其ノ制度ハ豫テ考ヘテ居ッタコトデ至極結構ノコトト考ヘマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 別段是以上此ノ法案ニ付キマシテ、御質疑モナイヤウデゴザイマスカラ、次ニ兵役法及共通法中改

正法律案、之ニ關スル御質疑ヲ、ゴザイマシタラ始メルトコトニ致シマス

○男爵井田馨楠君 此ノ御説明ノ中ニモアリマシタヤウデアリマスガ、兵役ノ年齢ヲ低下スル豫想ヲ御持チニナツテ居ルハ、是其ノ時ノ狀況ニ依ツテ色々低下年齢ノ御考ヘガ違フカトモ思ヒマスガ、其ノマダ體ガ十分出來テ居ナイ者迄モ下ガルト云フコトハナイト思ヒマスガ、凡ソハハノ位ノ豫定ヲ御持チニナツテ居リマスカ

○政府委員(木村兵太郎君) 只今ノ所徴兵適齡ヲ根本的ニ低下スル意思ハゴザイマセス、當局ニ於テハ滿二十歳ヲ以テ現在ノ所、適當デアルト存ジテ居ル次第ゴザイマス、徴兵適齡ヲ低下スルコトハ社會上、家庭上等ニ於テ好都合ノヤウナ場合モアリマセウガ、現制ハ民法上ノ成年トモ一致シ、便宜デアルバカリデナク、能ク兵業ニ堪ヘ得ル體質ヲ備ヘ得ル年齢デアルト信ジテ居リマス、從ツテ現在ノ所ハ徴兵適齡ヲ低下スル意思ハゴザイマセス、併シドノ程度ニイザト云フ場合ニ下ゲルカト云フ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスルガ、只今志願兵ハ滿十七歳カラ採ツテ居リマスルガ、是ハ特ニ少數、素質優良ナル者ニ限ツテ居ル次第ゴザイマシテ、イザト云フ場合ニドノ程度迄下ゲテ宜イカト云フコトハ、確ト御答ヘシ兼ネル狀態デゴザイマス、外國ノ徴兵適齡ノ景況ヲ申上ゲマス、ドイツハ二十歳、ソ聯ハ十八歳、イタリーハ二十歳、フランスハ二十歳、一時十九歳ノ場合モゴザイマシタ

○男爵井田馨楠君 先程ノ御説明ノ中ニ、此ノ他ノ地域ニ入籍スルコトヲ、兵役ガ終ラナケレバイカスト云フノデ、此ノ第二

國民兵役ニアル者モ、ソレヲ終ラナケレバナラスト云フコトニナツタヤウニチヨット御話ヲ伺ッタノデアリマスガ、サウ云フモノガ澤山アルデセウカ

○政府委員(田中隆吉君) ゴザイマセヌケレドモ、朝鮮、臺灣ヲ指シテ居ルノデゴザイマス、將來サウ云フコトハ起リ得ルト思ヒマス、徴兵忌避ノ目的デヤラレタ場合ニハ非常ニ困リマスカラ、今カラ先手ヲ打ツト斯ウ云フ譯デアリマス

○男爵井田馨楠君 能ク分リマシタ

○子爵松平保男君 私甚ダ寡聞デ、只今議題ニナツテ居リマスル共通法ト云フコトニ付テ、實ハ初メテ承知シタノデアリマスガ、之ヲ審議スル上ニ於テ、共通法ト云フノハ一體ドウ云フコトガ規定サレテアルノカ、此處ニハ此ノ改正ノ第三條ノ點ダケガ出テ居ルノデアリマスガ、此ノ元ヲ一ツ御話シ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中隆吉君) 是ハ陸軍ノ常識デ申シマス、戸籍法ト兵役法ノ兩方ニ同ジ文句ヲ入レル、斯ウ云フ意味デアリマス、司法省關係ハ詳シク御説明シタ方ガ便宜デアリマスカラ、今司法省ノ政府委員ヲ呼ンデ來マス

○委員長(侯爵前田利爲君) 只今ノ御質疑ハ別ト致シマシテ、其ノ他ニ御質疑ガゴザイマスレバ御申出デ願ヒマス

○子爵松平保男君 是ハ極ク小サイコトデゴザイマスガ、兵役法ノ方ノ六十條ト六十一條ノ字句ノコトデアリマスガ、六十條ノ方ハ「歸休兵、豫備兵、補充兵及國民兵」是是ニハ毎年一回簡閱點呼ヲ行フコトヲ得、六十一條ノ方ニハ「歸休兵、豫備兵、補充兵及國民兵」下斯ウナツテ居リマシテ、前ハ

「及」後ハ「又」トナツテ居リマスガ、是ハ意味ガ違フノデスカ

○政府委員(田中隆吉君) 別ニ意味ハ違ヒマセヌ、唯慣例ニ依ツテ從前ノヤウニ書イテ居リマス

○子爵松平保男君 前ニモ斯ウ云フ風ニ書イテアルノデスネ

○政府委員(田中隆吉君) はい

○男爵井田馨楠君 是ハ速記ヲ止メテ御話合ヲ願フ方ガ宜イノデスガ……

○委員長(侯爵前田利爲君) 暫ク速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(侯爵前田利爲君) 速記ヲ始メテ……

○子爵松平保男君 兵役法ニ關スルコトデアリマスガ、是ハ海軍ノ方ノ關係デアリマスガ、從來海軍デハ第一補充兵役ハ一年、之ヲ今度ハ全ク陸軍ト同ジヤウニ、十七年四月トシ、即チ是ハ陸軍ノ今迄ノ規定ニ依リマス

ト、第一補充兵役ガ十七年四月デソレカラ第二補充兵役ガ矢張り同ジク十七年四月、即チ三十四年八月ト、斯ウ云フ風ニナツテ居ッタノデアリマスガ、海軍ノ方ハソレガ第一補充兵役ガ一年デ、ソレカラ後ノ第一補充兵役ヲ終ツタ者ハ十七年四月ト、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ從來ノ規定ニ於テハ、海軍ガ殊ニ陸軍ヨリハ非常ニ年限ガ少クアッタト云フコトハ、是ハ例ヘバ海軍ノ方デハ、艦船ニ於テ色々兵器ナドモ複雑シテ居ッテ、現役ヲ離レテカラ長ク經ツタ者ニハ、ナカ／＼兵器等ノ使用モ困難デアルト云フヤウナ點ナドモ加味サレテ、コンナ風ニ年限ガ違ッテ居ッタノデヤナイカトモ思ハレルノデアリマスガ、今度ハ

之ヲ全ク陸軍ト同ジニシテモ差支ナイト云フ御見込デ、斯ウ云フ風ニナツタノデアリマスガ、此ノ前ニ是程年限ガ違ッテ居ッタ経緯ヲ御話シ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(澤本賴雄君) 從前ニ於キマシテハ、海軍ノ所要員ハサウ澤山ヲ要セズニ任務ヲ達シテ來タノデアリマスルガ、近來ニ於キマシテハ、其ノ數ガ非常ニ殖エマシテ、普通ノ素質ノ良イ人間バカリデハ數ガ賄ヘナイヤウニナツテ居リマス、サウシテ一方海軍ノ任務ハ相當ニ複雑デゴザイマスノデ、教育モ相當ニ長クヤラナケレバナラスト云フヤウナ關係ニアッタノデアリマシテ、其ノ兵員モ陸上ニモ使ヒ海上ニモ使ヘルト云フ風ニ考ヘテ、教育シテ居ッテ譯デアリマス、併シ今後ハ海上ニ使フヤウナ素質ノ良イ者、又教育ヲ餘計シナケレバナラヌヤウナ者ハ相當ニ採リマシテ、第一補充兵役ト云ツタ補充兵ノ方ハ主トシテ陸上ニ之ヲ使フト云フ風ニスレバ間ニ合ヒマスルシ、又ソレデ足リルノデアリマス、サウ云フ見地ニ於キマシテ第一補充兵役ヲ變更シタヤウナ次第デアリマス

○子爵松平保男君 サウ致シマス、從來ノ規定ハ只今ノ御話ノ通り左程ノ必要ヲ要シナカッタト云フ點デ、陸軍ト較ベテ大變年限ガ短カッタト云フコトニ主ナル點ガアツテ、今度斯ウ云フヤウナ時局ニナリマシテ、非常ニ人ガ多ク要ルト云フコトデ陸軍ト同ジヤウニ年限ヲ長クシタ、斯ウ云フ所ニ重點ガアル、斯ウ考ヘテ宜シイ譯デアリマスネ……

○委員長(侯爵前田利爲君) 其ノ外御質疑ハアリマセヌカ、次ニ退役將校ノ豫備役復歸ニ關スル法律案、之ニ關スル御質疑ニ

移リマス

○入江貫一君 誠ニ詰ラナイコトヲ伺ヒマスガ、色々ナ御考慮ノ下ニ幹部ノ養成補充等ヲ御計畫ナサデ居ラレマスコトハ先程伺ッタルデアリマスガ、此ノ一年志願兵役ノ濟シテハ何レ二十幾歳迄終ッタルデアリマセウガ、アレハ五十歳ニナル迄、四十何歳ト云フヤウナ者ヲ徵集シテ而モ幹部ノ極ク若イ少尉、中尉ガ行ク所ノ任務ニ就カセマシテ、果シテ皇軍ノ質ヲ低メナイデ出來ルモノデアラカドウカト云フコトヲ少シ疑フノデアリマス、尤モ戰時ノ必要ニ於テ已ムヲ得ナイコトナラバ致シ方ナイコト思ヒマスガ、例ヘバ「ドイツ」ナリ何ナリ外國ニ於テモ五十歳位ノ少中尉ヲ引張ッテ來テ十分役ニ立タシテ居ルヤウナ例ガゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、其ノ點ヲチヨット伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(木村兵太郎君) 一年志願兵中ニハ色々特有ノ技能ヲ持ッタルガ相當アリマスルノデ、即チ技術者デアルトカ、醫者デアルトカ、獸醫デアルトカ、是等ハ幹部ノ充足上、適材適所ニ使ヘバ相當能率ヲ發揮スルモノデゴザイマス、斯ウ云フ點カラ五十歳迄延長シマスルコトハ、軍トシテ非常ニ有利デアリ、且便宜ナ次第デゴザイマス

○子爵松平保男君 此ノ法文ヲ見マスト云フト、是々ノ外之ヲ現役ニ服セシメルト云フコトニナッテ居リマスカラ、是ハ本人ノ志願ト云フ意味デハナク、命令ニ依ッテ之ヲ現役ニ服セシメル、斯ウ云フ意味ニ了解シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(田中隆吉君) サウデアリマス、命令ニ依ッテ、豫備役ニ服セシメルトデアリ

マス

○男爵井田馨補者 幹部候補生ノ制度ガ出來タ時ニ當然斯ウ云フモノガ出來ナケレバナラヌヤウニ思ッタルデスガ、ソレガ今日迄サウ云フ風ニナラナカッタノハ何カ特別ノ理由ガアルノデアリマス、ドウモアノ時ニ私ハ斯ウ云フ風ニ兩方同ジニナルベキモノデアッタラウト思フ

○政府委員(田中隆吉君) 當時ハ得員ノ關係カラ必要ヲ認メナカッタノデアリマスガ、戰時軍ノ編成上或ハ動員ノ數ノ關係カラ、先ヅ四十歳迄ニシテ置ク、ソレカラモウ一ツハ一年志願兵ト幹部候補生トノ間ニ非常ニ能力上ノ差ヲ期待シテ居リマシタ、ソレノ考ヘ方カラト、今申上ゲマシタ戰時得員ノ關係カラ必要ト見ナカッタノデアリマスガ、最近ハ戰時得員ガ非常ニ殖エマシタノト、矢張り先程井田議員ノ申サレマシタヤウニ、精神的ニ延長スベキモノデアルト云フ二ツノ意味カラ今回之ヲ延長スルコトニ致シタルデアリマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 別ニ御質問ゴザイマセスカ、速記ヲ止メテ……
(速記中止)

○委員長(侯爵前田利爲君) 速記ヲ始メテ……

○政府委員(平木弘君) 先程私答辯致シマシタ中ニ、參謀本部、軍令部、陸軍省、海軍省等ニ勤務シテ居ル人デアリマシテ、戰務ニ特ニ關係ノ深い人ニ對シマシテハ、從來戰地外勤務加算ヲ附ケテ居タルデアリマスルガ、今回ノ戰爭ニ於キマシテハ、陸海軍カラノ申出モアリ、此ノ加算ヲ附ケナイコトニ取計ヒタイト存ジマス、斯ウ申上ゲマシタガ、其ノ中ニ此ノ字句ヲ一ツ附

加ヘテ戴キタイト思ヒマス、特別ノ事情ノ發生セザル限り附ケナイト云フ風ニ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵井田馨補者 ソレデハチヨット其處デ御伺ヒスルノデスガ、先程ノ勅令ヲ以テ指定スル地域ト云フヤウナコトガ、例ヘバサウ云ッタヤウナ地域ガ、何カ勅令ヲ以テ定メラレタ地域ニ假ニナルトシタヤウナ場合等ニ、サウ云フコトガ含マレルト云フコトモ考ヘテ宜イ譯ナノデスナ、ソレトハチヨット違フノデスカ

○政府委員(平木弘君) ソレトハ全ク別デゴザイマシテ、勅令ヲ以テ指定スルト申シマスルノハ流行病デゴザイマス、今迄戰地ニ於キマシテハ、是々ノ流行病ニ罹レバ戰地流行病トシテ取扱ッテ居リマシタルヲ、今度其ノ戰地ト云フコトハナクナリマスカラ、例ヘバ支那大陸デアルトカ、「マレー」デアルトカ、サウ云フ地域ヲ勅令デ指定シテ、其處デ病氣ニ罹ッタ者ハ戰地流行病トシテ取扱フ、今申シマシタルトハ全ク別問題デゴザイマス

○委員長(侯爵前田利爲君) ソレデハ恩給法中改正法律案ニ付テ討議ニ移ルコトニ致シマス

○入江貫一君 私別ニ異議ガアル譯デモナシデモゴザイマセス、恩給法ノ根本問題ニ付キマシテハ色々御意見モアリ、又政府ニ於カレマシテモ御考ガアルコトハ存ジマスガ、今回ノ改正ハ戰時ニ直接ニ必要ガアル部分デケテ特ニ取上ゲテ御改正ニナッタコトト存ズルノデアルガ、根本諸問題ニ付キマシテハ尙御研究ノコトト存ジマスカラ、其ノ點ニハ觸レマセス、而シテ今回ノ改正ノ中心ヲナスモノハ第三十二條ノ戰地及戰地

ニ非ザルモノノ區別ヲ撤廢スルト云フコトニアルカト存ズルノデアリマス、就キマシテハ戰務ト云フ言葉ガ、是ハ從來モアッタコトデハアリマスガ、一層其ノ何カ戰務デアルカ、如何ナル程度迄戰務トシテ認メルカト云フコトハ餘程ムヅカシイ混ミ入ッタコトデアラウト考ヘマス、況シテソレニ對シマシテ、從來ノ戰地及戰地以外ニ於ケル加算ノ程度ヲソレニ一々當嵌メテ行クト云フコトモ隨分ムヅカシイ問題デアラウト存ズルノデアリマス、唯先程長官カラノ御説明ノ通り勤務ノ内容ニ應ジテ適當ナル加算ヲスルノダト云フコトデアリマスレバ、最モ其ノ内容ニ應ジテ適當ナル加算ヲ附ケルコトヲ希望致シマスノデ、若シ是ガ不適當デアリマスレバ、隨分不平ナドモ起リハシナイカト云フコトヲ憂慮スルノデアリマス、申ス迄モナイコトデアリマスガ、當局ニ於カレマシテモ十分御注意ノ上ソレ等ヲ御考慮ニナルコトト考ヘマス、當ニ軍人タルノミナラズ其ノ他ノ公務員ニ於テモ或場合ニ於テハ不眠公務ニ從事シ、生命ヲ犧牲ニ供スルコトモアリ得ルコトト存ジマス、ソレ等ニ對スル權衡等モ御注意下サイマシテ、不權衡ノナイヤウニ御處置ニナルコトヲ希望致シマシテ本案ニ賛成ヲ表シタイト存ジマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 他ニ御意見モゴザイマセスカレバ、此ノ本案ニ皆御異議ナク御賛成ト心得マシテ宜シウゴザイマス

○男爵井田馨補者 賛成

○委員長(侯爵前田利爲君) 全員賛成ト認メマス、今丁度政府委員ガ出デデアリマスカラ、先程ノ共通法ニ付テノ松平子爵ノ

御質問ヲ承ルコトニ致シマス

○子爵松平保男君 此ノ共通法ナルモノニ付テ、私ハ初メテ此ノ名前モ承知シタヤウナ譯デアリマスノデ、共通法ト云フモノハ如何ナルコトガ規定サレテアルノデアルカ、此處ニ戴イテ居ルノハ第三條ノ改正ノ點ダケ舉ゲラレテ居リマスノデ、大體ドウ云フコトガ此ノ法ノ中ニ規定サレテアルノデアリマスカ、大體ノ所デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(坂野千里君) 御尋ニ對シテ御答ヘ致シマス、共通法ト申シマスノハ、法律ノ地域ノ異ル間ノ法律ノ適用ニ關スル法律ト、斯様ニ申シマシテモ宜イト思ヒマスガ、要スルニ我國デハ臺灣、朝鮮ト我が内地トハ、法律ガ異ツテ居ル譯デアリマシテ、其ノ間ノ適用ノ調節ヲ致スノガ共通法ニナル譯デアリマス、ダカラ例ヘテ見マスレバ、内地ニ於テ規定致シマシタ裁判ガ、他ノ地域ニ行ツテドウ云フ效力ヲ持チ、之ニ付テ執行スルノハドウ云フヤウニ致スベキカ、サウ云フヤウナコトヲ大體ニ於テ規定致シテ居ルノデアリマス、本改正案ニ付テ問題ニ致シマスレバ、内地ニ於テ家ヲ去ル、或ハ内地ニ於テ家ニ入レル、サウ云フヤウナ規定ガ朝鮮ニ行ツテハドウ云フ關係ニナルカ、サウ云フコトニ付テノ規定ヲ致ス譯デアリマシテ、丁度朝鮮ト内地トノ法律的交渉ヲ解決スル規定ナンデアリマス、ソレガ共通法デアリマス、斯様ニ申上ゲタラ宜カラウト思ヒマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 次ニ退役將校ノ豫備役復歸ニ關スル法律案ニ關シテノ討議ニ移リマス……別段御意見モゴザイマセ

ヌケレバ、全會一致御賛成ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵前田利爲君) 全員、賛成ト認メマス、次ニ兵役法及共通法中改正法律案

○男爵井田馨楠君 本改正法律案ハ、現下ノ大東亞戰爭ノ時局ト其ノ將來性ニ鑑ミ、兵員資源ノ益、殖エルコトヲ豫定サレタ法律ナンデアリマシテ、全ク時局ニ適合シタモノト思ヒマス、其ノ意味ニ於キマシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スルモノデゴザイマス

○委員長(侯爵前田利爲君) 他ノ諸君ニ御異議ハゴザイマセスカ、全員賛成ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵前田利爲君) 全員、賛成ト認メマス、ソレデハ是デ終リマス

午後三時二十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵前田 利爲君

副委員長 子爵松平 保男君

委員

入江 貫一君

男爵井田 馨楠君

江口 定條君

政府委員

內閣恩給局長 平木 弘君

法制局長官 森山 銳一君

陸軍次官 木村兵太郎君

陸軍少將 田中 隆吉君

海軍次官 澤本 賴雄君

司法省民事局長 坂野 千里君